

# 長島本島地区における町立小・中学校等再編方針

令和4年10月26日  
長島町教育委員会

## 1 現状と課題

長島町立小・中学校再編に関しては、平成27年第2回長島町議会臨時会での中学校1校案の否決を受け、その後、三者合意のもと中学校2校案を推進したものの保護者アンケート等の結果、反対多数により現状となっている。

本町の児童生徒数は10年前と比較すると約10パーセント減少しており、少子高齢化の進行により今後も減少が続いていく予想となっている。

特に中学校では、全教科の教員（専門の教員）が配置できないなどの教育条件の格差や、希望する部活ができないなどの喫緊の課題がある。

## 2 本町における望ましい学校規模

### (1) 小学校

1学級の児童数は25名から30名程度、1学年の学級数はクラス替えが可能な2学級以上が望ましい。

### (2) 中学校

1学級の生徒数は30名程度、免許外教科担任の解消や、集団学習の弾力的な編成が可能となる1学年3学級以上が望ましい。

## 3 本島地区における小・中学校再編方針

### (1) 小学校：複式学級の解消。

複式学級は、小規模校の良さがある一方、少人数ということから集団の中での多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会少なくなりやすいことから、複式学級の解消を進めていく必要がある。

### (2) 中学校：1校に再編。

免許外教科担任の解消と集団学習の弾力的な編成のため教員確保が可能となるほか、希望する部活動で活動できる環境整備や、高1ギャップの解消を図るためには、なるべく早い段階で1校とする必要がある。

再編場所については、保護者や地域の意見、財政問題等様々な課題があるため、総合的に判断する必要がある。